

中央線高架化工事に伴う踏切しゃ断時分の改善等について

2003年10月15日

東日本旅客鉄道株式会社

中央線三鷹～立川間連続立体交差化工事に伴い9月27日～28日に仮上り線を設置した後、当該区間の踏切において、工事前と比べて閉じている時間が長くなる事象が発生しておりますが、通行者の皆様にはご理解とご協力をお願いしているところです。

仮上り線切換後において通行者の状況及び踏切しゃ断状況を調査し改善策等を検討した結果、今回、以下の改善を図ることいたしました。

1. 踏切制御方式の改良

安全確保を前提に踏切の閉まっている時間を少しでも短くするため、踏切制御方式を改良します。

鳴り始めのタイミングを変更する装置を新設します。(5踏切、5箇所)

全ての踏切について、新たな回路を設置し、列車通過後に踏切が開くタイミングを早くします。

(13踏切、23箇所)

制御装置を改良し、通過列車と停車列車を判別することにより、停車列車について改善します。

(6踏切、8箇所)

以上の対策により、日々の列車の運行状況によって異なりますが、ピーク1時間でしゃ断時間が数秒～数十秒間短縮される効果が見込まれます。

2. 自転車通行の改善

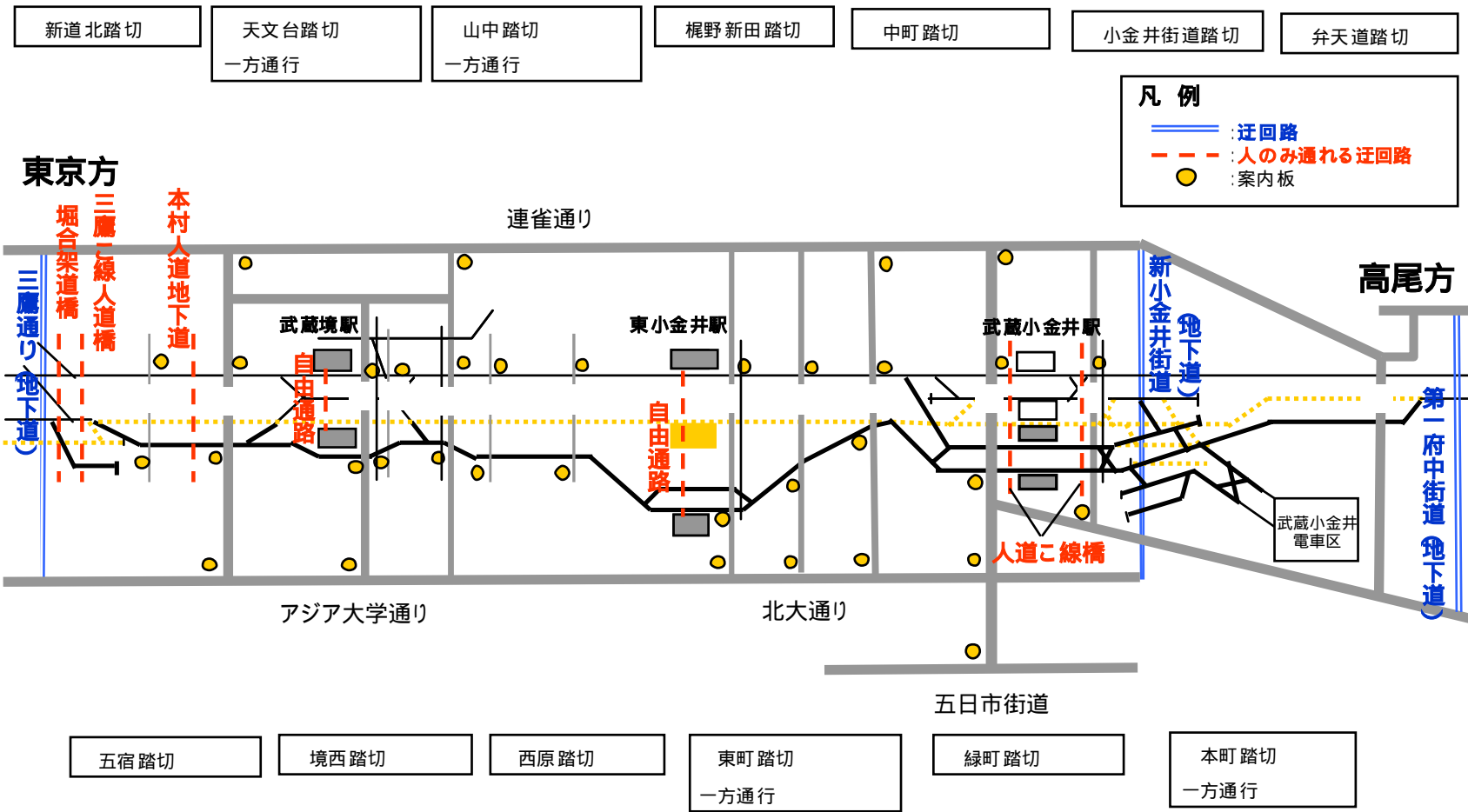
・東小金井駅自由通路には、既に歩行者、車イス用のエレベータが設置されていますが、これとは別に、自転車が使用可能なエレベータを新設します。(駅南北各1基)

3. 車イスご利用などの改善

・武蔵小金井駅については、自由通路が無いため、改札内のエレベータをご利用していただけるよう、早急に準備いたします。

なお、武蔵境駅、東小金井駅については、自由通路エレベータのご利用をご案内しております。

中央線三鷹～国分寺間 切換後の迂回路及び案内板設置



東小金井駅自由通路の自転車通行対策案

計画概要

計画内容： 現自由通路のエレベーター脇に、自転車が利用できるエレベーターを増設する（南北計2台）。

仕様： 13人乗り

留意事項： ラッシュ時は混雑対策として誘導員を配置する。

